



2024年 春号

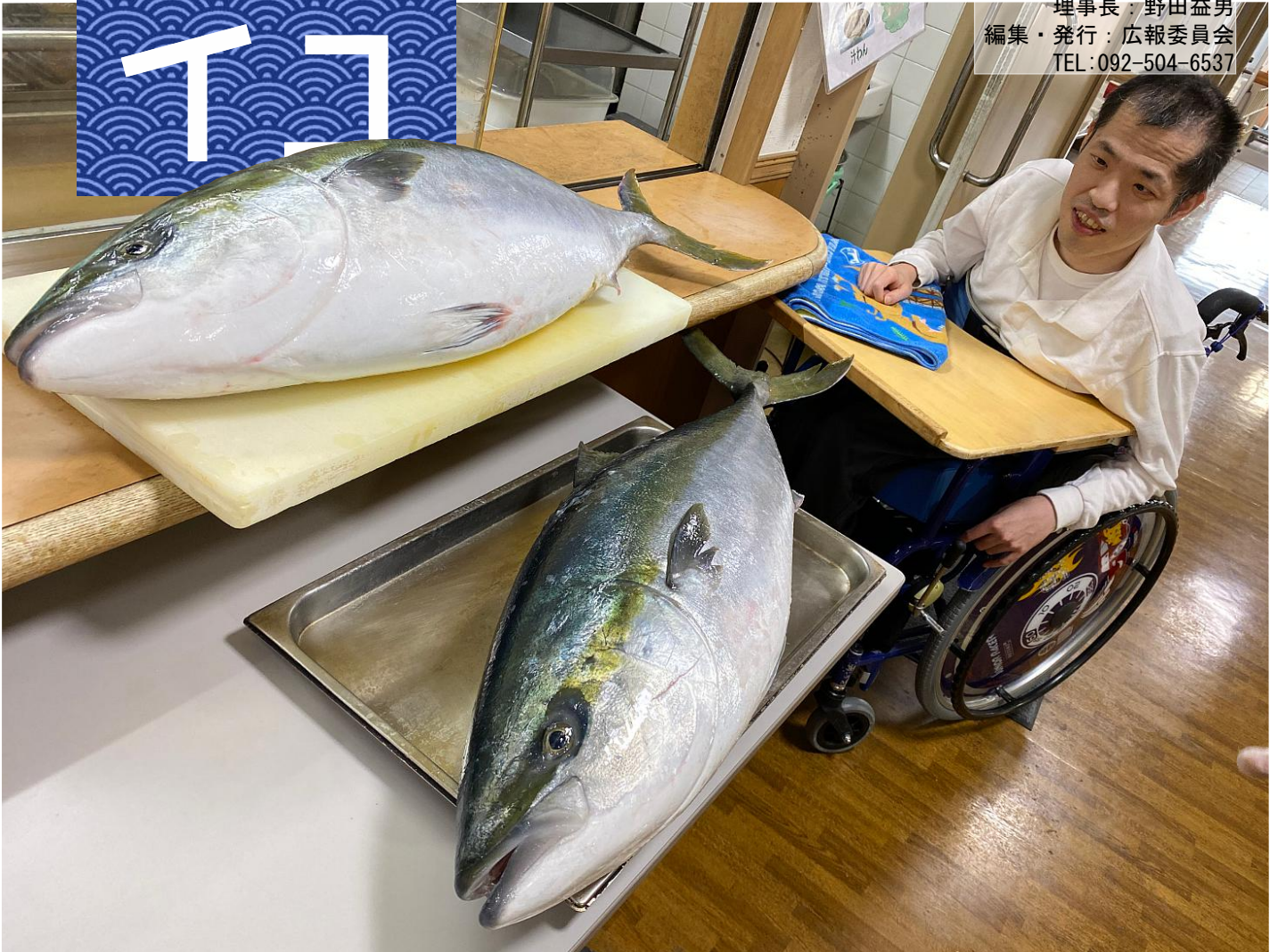
社会福祉法人 慶和会
障害者支援施設 まどか園

福岡県大野城市大字瓦田127-48

理事長：野田益男

編集・発行：広報委員会

TEL: 092-504-6537



↑2024年1月1日の昼食に提供されたのがこの鮭。一本12kg超えでお値段約33,000円とのこと。料理長曰く「このサイズがブリやね。これ以下はハマチかヤズよ」。正月早々縁起のいい出世魚・鮭をいただき、さらなる躍進を誓うまどか園でした。

慶和会における令和5年度の振り返りと令和6年度の展望

令和5年度を振り返ると、数年にわたるコロナ禍で萎縮した施設運営を今後どう前向きに進めていくのか？そんな課題の解決に向けて模索と検討を重ねた一年だった気がします。

現在、福祉業界全体が介護職員の不足に苦しむ中であって、更に障害分野は人材確保が困難な現状があります。この厳しい状況下で、野田新理事長の方針である「利用者様の最適な日常生活の支援」と「社会貢献の実施」を慶和会の目標に掲げ、新たに内部の体制を整えながら少しずつ取り組みを重ねることで、ようやく徐々にですが6年度に向けた前進の兆しが見え始めた状況です。現在は通所の利用者様が主ですが

短期入所受け入れの人数も徐々に増やせてきました。また、放課後デイの卒業生の受け入れ先として新たに20人定員の生活介護を開所しました。入所者用の居室も新たに整備して今後は幅広く入所の待機登録も募っていく予定です。そして、おひさまクラブとの連携の強化や新事業も視野に入れながら、6年度以降は更に0歳から高齢まで、発達障害から重度の身体障害の方の入所支援まで、生涯にわたる体制の整備と充実を図ってまいります。

今後も職員全員の力を合わせて安心と満足度の支援を提供させて頂く所存です。慶和会を宜しく願います。
〈施設長:新見〉

イベント

この約半年間に行なわれたイベントを一挙にご紹介。9月「のど自慢大会」、11月「お楽しみ会」、12月「クリスマス会」、2月「節分会」などを行ないました。

9月も末に行なわれた「のど自慢大会」。この数年コロナ禍のため動画での開催と自粛しておりましたが、ようやくライブで行なう事ができました。もう嬉しすぎて仮装までして盛り上がってしまいました。しかし「お楽しみ会」はまだお客さんを呼ぶまでには至らず…でも、大野城市のフラ・タヒチダンスチームが素敵なステージを披露してくださいました。「クリスマス会」も以前のようにご家族を招待することはできませんでしたが、少しずつ復活の兆しは実感しております。今年一発目のイベント「節分会」では皆さん元気な笑顔で楽しんでくださいました。



↑①ハロウィンとの時季も重なり仮装をして楽しんだ「のど自慢大会」。／②「マカナフラタヒチ大野城」の皆さんのフラダンスに思わず見とれてしまいました。／③職員のお笑いや利用者さんによるパフォーマンス、バンド演奏にビンゴゲームなど、まだか園のクリスマスは賑やかです。／④ミャンマーからきた支援員のウィンさんも「節分会」に興味津々。

製作活動

まどか園きっての職人肌、K垣さんがドリームな活動を始めました。持ち前の技術と忍耐力を生かしカラフルな木製コースター作りには精を出しています。



もともと就労継続支援B型の施設で木工作業の経験があったK垣さん。我が園でも「何かしたい！」と思っていたところ、いつも車で送迎をしてくれていた運転手の宮田さんがその言葉を聞いて発起。宮田さんもモノづくりが趣味だったこともあり、二人三脚でこのプロジェクトがスタートしました。宮田さんが材料となる板を切り出し、K垣さんが研磨と絵付けを担当。今では70個以上もの作品が出来上がっているとのこと。今年度こそ開催されるであろうお客さんがやって来るまどか園のイベントで販売することを夢見ています。売上で「焼き鳥が食べたい！」というK垣さん。皆さんいつか彼の願いを叶えてあげてくださいーい。

←①色とりどりのコースターはどれもK垣さんの個性が光っています。／②一つひとつ手作りならではの魅力がいっぱい。／③パッケージも抜き取りありません。

慶和会グループ4施設の様々な日常を写したスナップショットを集めました。特別なイベントだけでなく普段の生活も、キラキラした大切なひと時です。

障害者支援施設 まどか園



2024年のお正月。園長より利用者の皆さんにお神酒が振舞われました。酔っ払わないでね。



めでたくお誕生日を迎えられたO崎さん。両手いっぱいのプレゼントを抱えてご満悦～。



ピンゴゲーム優勝者に渡されたまどか園記念品。そのあまりのグロさに放心状態のU田さん。



外食気分を味わおうと企画されたケータリングによる食事会。この日はスシローのお寿司に舌鼓。

放課後等デイサービス まどか園



大きなハートのプレゼントで、笑顔満開の花が咲きました！喜びが写真でも伝わりますね。



みんながビックリするようなコワイ鬼を作るぞ！豆まきで大活躍のお面が完成しました。



みんなで輪になり好きな柄の折り紙を選んで、素敵なオリジナルの雛飾りを作りました。



気持ちを込めてバレンタインの飾りつけを皆でしました。男の子も女の子も楽しんでくれました。

児童発達支援 さんさんキッズ



お外でお芋ほり！スコップを上手に使い「みつけた～！」と子供達も大喜びでした。



福笑いをしました。ドキドキしながら目隠しをとると、素敵なお顔が出来上がってました。



お外に出て皆で雪合戦。雪が降るのはめずらしいから寒さも忘れて皆大はしゃぎ～♪



お友達とお店屋さんごっこをしました。店員さんやお客さんになりきった会話が楽しそうでした。

放課後等デイサービス さんさん



近くの公園でサッカー！今、さんさんでは男の子たちを中心に盛り上がりつつ♪



去年の秋にはりんご狩りに行きました！甘くておいしいりんごを沢山食べて皆大満足でした。



毎年恒例の餅つき！今回も杵と臼でべったんべったんと頑張って、おいしいお餅がつけました。



「ピクニカ共和国」へお出かけ。いろんな小動物と触れ合うことができ癒されました！



作：鞆野 明
まどか園の生活支援員。漫画好きが高じて自らもペンをとるアマチュア漫画家。その風貌から「和尚」と呼ばれ親しまれている。



新人歓迎

令和5年10月～令和6年3月に加わった新しい職員を紹介します。フレッシュパワーで頑張りますので名前と顔を覚えていただけましたら幸いです。

生活支援員



石橋千波

令和6年1月に入職しました。以前は入所施設で働いていました。まだまだ分からないことばかりですが、先輩方に教えていただきながら頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

看護師



梶原ヒサ子

3月に入職しました梶原です。施設での勤務は初めてですが、ご利用者の日々の生活が安全で元気に笑顔で過ごしていただければいいようにサポートしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

編集後記



入所の皆さんが外食や買物を楽しむ外出支援というサービスがあります。コロナ禍により2年ほど中止とさせていただいてましたが、1年くらい前より場所限定の短時間にて再開しております。今年度あたり以前の様な制限のない外出支援を早く復活させたいと思っておりますが…状況を見守っている次第です。さて、上の漫画で出てくる「書を捨てよ、町へ出よう。」とはもともと演劇作家の寺山修司が1967年に出版したエッセイ集のタイトルです。「書物から学ぶ学問なんか捨てて、幅広く社会の現実を見ろ」という意味で当時の若者に強く突き刺さった言葉です。思わず微笑んでしまいました。〈編集部：浅草〉